

一般社団法人全日本機密文書裁断協会 第九期（2022年度）事業報告

今年度は、新型コロナウイルス感染状況（以下、「コロナ禍」という。）を踏まえ、コロナ禍の状況に応じ理事会・各委員会を開催し、会の運営に努めました。

本会の目的である機密文書の漏えい防止及び、紙の再資源化の必要性を訴求するため、広報委員会では会員各社への送客対策として、「Webリスティング広告」、協会ホームページ（以下、「HP」という。）の「検索キーワードの最適化」・「プレスリリース」の展開を図りました。会員各社にご協力をいただき展開している「会員ブログの継続（3巡目）」、施策に遅れが生じましたが、ローカルエリア対策として「Googleマイビジネス」・「Yahoo!プレイス」への登録、「本会LINE公式アカウント」活用等の施策を通じ、裁断サービスの普及推進および会の知名度向上に努めました。

業務品質向上委員会では、お客様より幅広いご意見をいただき、会員各社の「機密文書裁断サービス」品質向上にお役立ていただくため、裁断サービスに関する「顧客満足度調査」を実施いたしました。お客様よりご回答をいただいたアンケートの集計では、裁断サービスの品質に関する設問について、ほとんどのお客様に満足いただいている良い結果となりました。アンケートの結果は、会員各社に発送のうえ協会HP（会員専用ページ）に掲載し、情報の共有を図りました。今年度の「ランクアップ制度」二級処理士の申請では、条件をクリアした38名を認定いたしました。

今年度の研修勉強会は新たな取り組みとして、ご担当者（実務者や営業担当者の皆様）を中心に、先の見えぬコロナ禍でも会員様方に『つながり』を大切にさせていただきたいと考え、2019年度に実施し好評を得た「グループディスカッション」をオンライン会議システム（Zoom）にて開催いたしました。現場を知る実務の皆様にご参加をいただき、当会会員しかできない裁断事業の展開について活発な意見交換が行われ、有益な情報や新たな知識を深める機会となりました。

ブロック活動助成金制度では、コロナ禍の活動制限が緩和される中、地域展示会への出展やブロック会議の開催、裁断強化月間を定め「裁断サービス」・「全日本機密文書裁断協会」の訴求活動が行われるなど、各ブロック内の連携強化を図りました。

【会員の異動数】

区分	会員		増減
	2022年4月	2023年4月現在	
正会員	61社	61社	0社
賛助会員	8社	7社	-1社
合計	69社	68社	-1社

退会企業：＜賛助会員＞ 株式会社山室（2023年3月）

1. 裁断業務の品質対策

(1) 定例研修勉強会の実施

2023年2月10日(金) TKP 新橋カンファレンスセンター(東京都千代田区)を運営拠点に、「一般社団法人全日本機密文書裁断協会 2022年度 研修勉強会」を開催しました。今年度の研修勉強会は新たな取り組みとして、ご担当者(実務者や営業担当者の皆様)を中心に、先の見えぬコロナ禍でも会員様方に『つながり』を大切にさせていただきたいと考え、2019年度に実施し好評を得た「グループディスカッション」をオンライン会議システム(Zoom)にて開催いたしました。現場を知る実務の皆様にご参加をいただき、当会会員しかできない裁断事業の展開について活発な意見交換が行われ、有益な情報や新たな知識を深める機会となりました。

また、広報委員会より事業展開や、会員様に向けた依頼事項について説明が行われ、情報の共有を図りました。研修勉強会後のアンケートでは、職場の自席や会議室等から参加いただき、分かりやすいテーマで大変満足した等の評価をいただきました。会員様のコメントでは、「他ブロックの地域性や情報交換ができ、有意義な会議でした」、「普段接点がなかなか無い会員の方々にお会いできる機会をいただきうれしく思います」、「次回もこういった勉強会を開いていただきたいと思います」、「今後活かせる内容でした」、「他社の取り組みを披露していただき、とても勉強になりました」、「このような会は、やはり対面でお話をしたいと思いました」等、様々なお声をいただきました。来年度以降の研修勉強会も、会員様からいただいたご意見を参考に、検討してまいります。

【研修勉強委員会会議開催日】

2022年8月19日 ナカバヤシ(株)大阪本社 会議室

2022年10月7日 リモート会議

2022年11月24日 リモート会議

2023年2月2日 リモート会議

(2) 表彰制度

本会員より推薦された下記会員企業を、会の発展に寄与した企業および、社会貢献活動に取り組んでいる企業であると理事会で認め表彰いたします。

【表彰対象者】

表彰対象者名(企業名)	表彰理由
有限会社タカハ様	故 山村岳央様におかれましては 積極的な機密文書裁断事業の展開・古紙リサイクルの推進により 地域社会に大きく貢献されました また 甲信・北陸ブロック会の中心的な活動とともに 東海ブロック会の展示会にも積極的に参加されるなど 献身的な姿勢は他の模範であり 機密文書裁断事業の発展・成長につなげてこられた功績があらわれる
有限会社志場商店様	貴社は 近年 裁断車両の増車などによる機密文書裁断事業の拡大並びに その積極的な事業展開により 機密文書裁断事業の発展・成長につなげてこられた功績があらわれる
市橋技研株式会社 部長 渡村 保男様	貴殿は機密文書裁断事業に精励され お客様の信頼も厚く 北海道ブロック会の価値を高め 機密文書裁断事業の発展・成長につなげてこられた功績があらわれる
北海道エコシス株式会社様	貴社は富原氏を中心に 裁断車両のメンテナンスについて 深い知識と経験により 有益なノウハウを惜しみなく提供をいただき当会並びに機密文書裁断事業の発展・成長につなげてこられた功績は大きい

（３）機密文書裁断抹消処理士認証制度

今年度、業務品質向上委員会の事業活動は、会員各位にご協力を得ながら第 8 期に実施いたしました「成功」・「失敗」の「実務事例」事業に続き、実務担当者の皆様とユーザー様のコミュニケーション向上と、会員各社が提供している裁断サービスに対するユーザー目線のお声を聴くことで、今後のサービス内容の改善や課題解決に取り組む施策として、「顧客満足度調査」を Web アンケート方式にて実施いたしました。お客様よりご回答をいただいたアンケート集計では、裁断サービスの品質に関する設問について、ほとんどのお客様に満足いただいている良い結果となりました。また、お客様からいただいたコメントでは「いつも利用している会員企業様が機密文書裁断協会様と言う協会に属されていたことを知り、大変良かったという率直な意見で、さらに安心感が増しました」、「いつも丁寧な対応ありがとうございます」、「毎回、親切丁寧且つ迅速に作業していただいております、社員一同感謝しております」など、大変有難いお言葉をいただきました。第 8 期に実施した実務者目線からの「実務事例」と、第 9 期に実施したユーザー様目線からの「顧客満足度調査」は会全体で情報を共有するため、協会 HP に掲載をしております。是非、協会 HP でご確認をお願いいたします。また、第 9 期の「ランクアップ制度」では、申請をいただいた中で条件をクリアした 38 名を「二級処理士」に認定し、138 名の二級処理士が在籍しています。

【業務品質向上委員会開催日】

2022 年 6 月 3 日 TKP 品川カンファレンスセンター
2022 年 8 月 25 日 リモート会議
2022 年 11 月 21 日 リモート会議
2023 年 1 月 25 日 リモート会議

（４）会員企業間の連携強化

今年度のブロック活動助成金制度では、コロナ禍の活動制限が緩和される中、地域展示会への出展やブロック会議の開催、裁断強化月間を定め「裁断サービス」・「全日本機密文書裁断協会」の訴求活動が行われるなど、各ブロック内の連携強化を図りました。今後も文書裁断サービスの全国組織として、その連携・交流機能を最大限に活用し、サービスの品質向上と、本会更には業界の活性化に結び付けるための活動を展開してまいります。

2. 広報宣伝事業

（１）本会ホームページの強化策

協会HPの位置づけを『「協会紹介ツール」から「会員参加型営業ツール」へと進化させる』をテーマに、HPの集客対策を行いました。会員各社への送客対策として、「Webリスティング広告」・「検索キーワードの最適化」・「プレスリリース」（PR TIMES社配信より15社に転載）の展開を図りました。会員各社にご協力をいただき人気ページの「会員ブログの継続（3巡目）」、施策に遅れが生じましたがローカルエリア対策として「Googleマイビジネス」・「Yahoo!プレイス」への登録、「本会LINE公式アカウント」の活用等の施策を展開、また、研修勉強会では広報委員会が実施している各施策のご登録について呼びかけを行い、情報の共有を図りました。

広報委員会の事業展開により、HP コンテンツ強化のアクセス解析では改修前の対比で、「セッション」では 687%、「新規ユーザー」では 725%、「ページビュー」では 884%、「会員 HP への送客数」では 382%向上し、何れの項目においても HP 改修の効果を確認いたしました。

【広報委員会開催日】

2022 年 8 月 2 日 リモート会議
2022 年 12 月 13 日 美濃紙業株式会社 会議室
2023 年 2 月 9 日 リモート会議

3. 環境保護活動の推進・貢献活動の実施

（１）カーボンオフセットの継続実施

環境に配慮した事業活動を目指し、継続事業としてカーボンオフセットへの取り組みを行いました。

2022 年度は 約 216t の CO2 をオフセットしました。

【協カプロジェクト】

- ・ 森林・林業日本一の町を目指す住田町の間伐プロジェクト
- ・ SRHHL の風力発電による電力供給（インド）

（２）文書リサイクルの促進

各種事業を通し、全国会員企業の機密文書裁断サービスの展開により、個人情報・機密事項が記載された文書の情報漏洩を防ぐとともに、紙の再資源化を図りました。今後も事業を適正に推進することで、紙資源のリサイクルを促進し循環型社会の実現に寄与してまいります。